

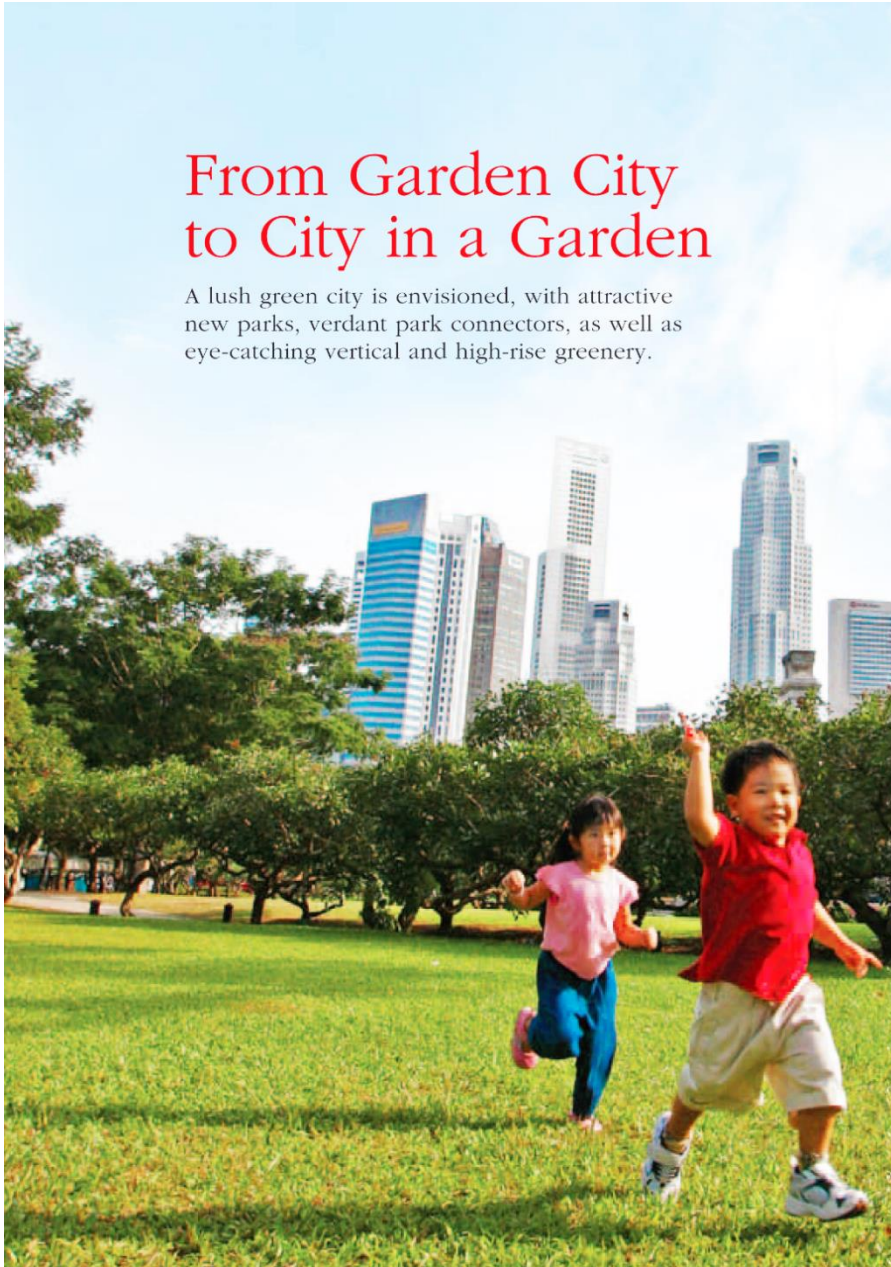
## From Garden City to City in a Garden

A lush green city is envisioned, with attractive new parks, verdant park connectors, as well as eye-catching vertical and high-rise greenery.

# シンガポールにおける シティ・イン・ア・ガーデンへの 展開に関する研究

緑地計画学 徳野みゆき

(出典：”An Endearing Home, A distinctive Global City Singapore”, Ministry of National Development)



# シンガポールの概要

- 位置： マレー半島最南端  
北緯1度9分
- 国土面積： 約710km<sup>2</sup>  
(東京都23区と同規模程度)
- 人口： 546万人
- 民族： 中国系、マレー系、  
インド系等
- 宗教： キリスト教、イスラム教、  
仏教、道教等



# シンガポールの概要



(出典:土地利用計画書2013)

# 研究背景および目的

## 研究背景

- 緑にあふれた都市「ガーデン・シティ」として国際的に認知
- 近年、新たな都市ブランディングとして「シティ・イン・ア・ガーデン」へ展開、次世代の都市づくりに取り組む

多民族・多宗教の社会環境や緑を基盤とした都市づくりは、アジアだけでなく他の都市においても今後の都市整備や緑地計画を考える上で大いに参考となる



## 研究目的

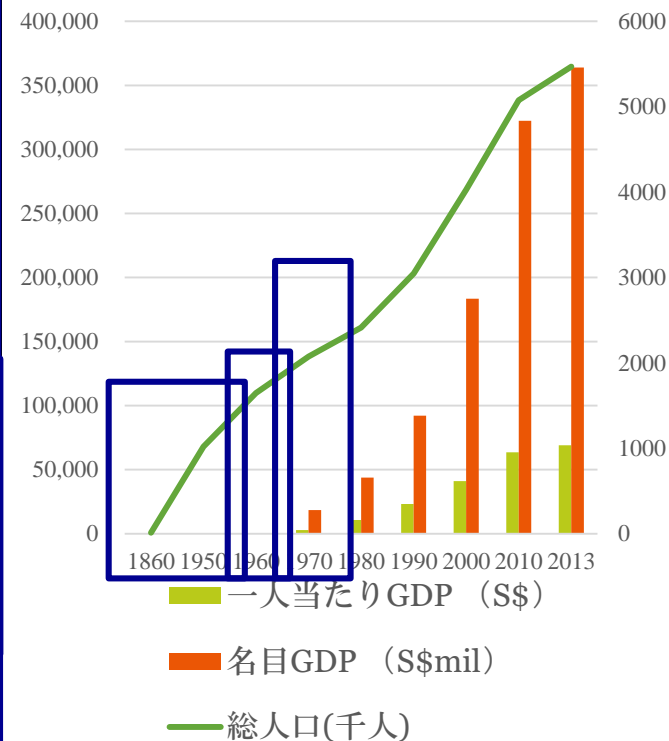
ガーデン・シティからシティ・イン・ア・ガーデンへの移行期に改訂された都市計画書を対象として、その計画目標や緑地施策に関わる特性を比較することによってシティ・イン・ア・ガーデンへの展開過程を明らかにする



# 都市づくりの変遷(1)

時代区分	年	社会的な動向	都市計画に関する組織と施策などの動き
独立前	1819	イギリス東インド会社書記官ラッフルズによる植民地化 住民：マレー系漁師150人程	ラッフルズによる他の植民都市を参考にした土地利用計画の提示。計画的な都市づくりの始まり
	1824	イギリス植民地として正式に割譲、自由貿易化が進む 人口1万人	
	1860	人口増加による都市の過密化とスラム化	
	1950	人口102万人 第二次世界大戦の復興も課題となる	
	1958		大ロンドン計画に基づいた初のマスタープランの策定
ガーデン・シティの黎明期	1959	イギリス自治領化。リー・クアンユーが自治政府の首相に選出	国際投資を引きつけるような清潔で緑溢れる都市づくりの一環として、ガーデン・シティ政策を提唱
	1960	人口160万人	
	1963		全国植樹キャンペーンの開始
	1965	共和国として完全独立。リー・クアンユーが首相に選出	
ガーデン・シティの発展期	1970	人口207万人 住宅供給や都市基盤の整備とともに雇用機会の創出も課題となる	時間と場所があれば植樹。他都市の街路樹の排水システム等の技術も取り入れる。
	1971	イギリス連邦政府首脳会議をシンガポールで開催	ガーデン・シティ委員会の設置。総合的な交通と国土システムの構築を目指したコンセプトプラン1971の策定。

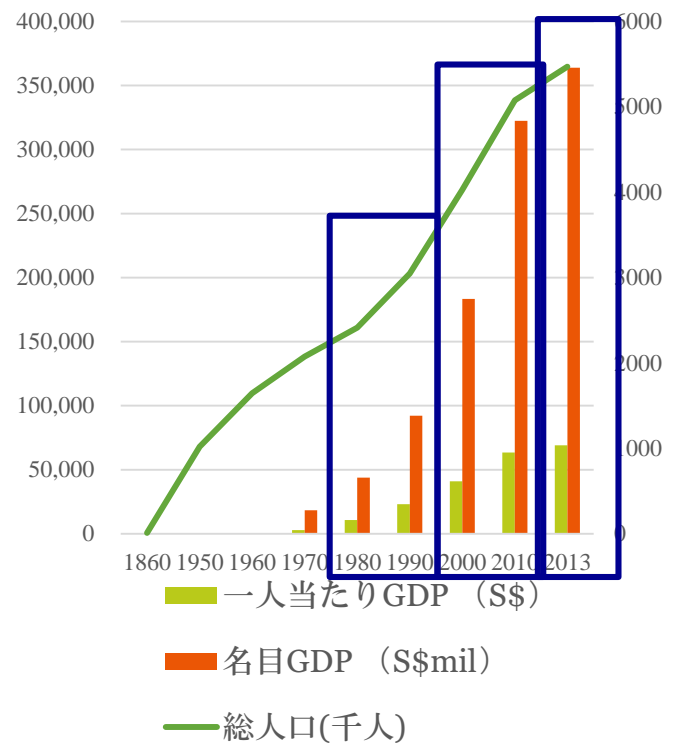
シンガポールの人口推移と国民一人当たりおよび名目GDPの推移



# 都市づくりの変遷(2)

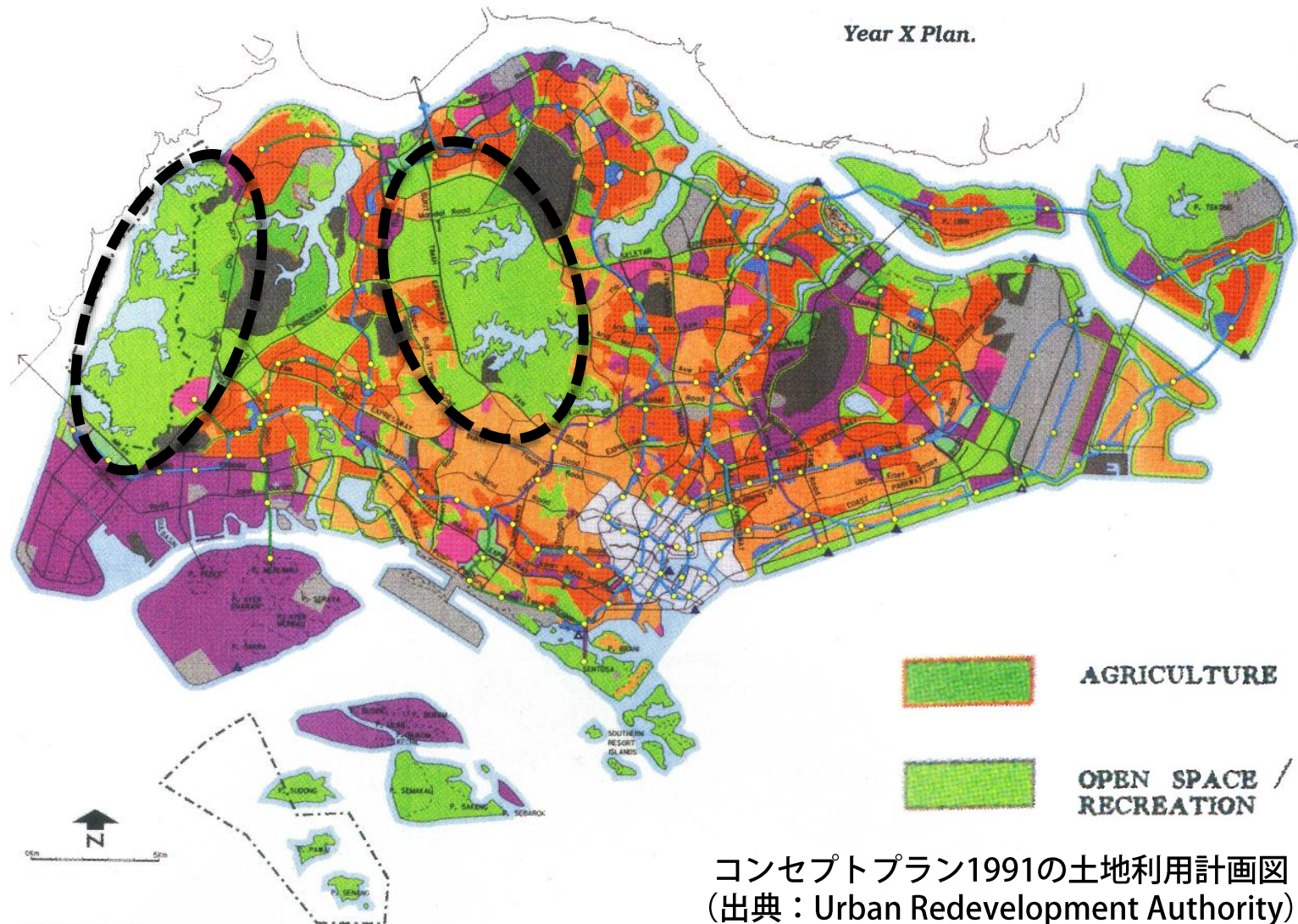
時代区分	年	社会的な動向	都市計画に関する組織と施策などの動き
ガーデン・シティの確立期	1987	コンセプトプラン1971によって都市の基盤整備が進む。 経済力の上昇とともに都市に対するニーズが余暇環境の充実へ変化	次なるガーデン・シティを目指すBlue & Green Network Systemの立案
	1990	人口304万人 第2代首相として人民行動党ゴー・チョクトンが選出	インフラの緑化からレクを重視した緑地施策へ
	1991		より質の高い都市環境の実現を目指したコンセプトプラン1991の策定
シティ・イン・ア・ガーデンの黎明期	2000	人口402万人 ガーデン・シティがある一定確立、世界的な認知度も上昇	
	2001		多様性への対応を図った新たな都市ブランディングを目指したコンセプトプラン2001の策定
	2004	第3代首相として人民行動党リー・シェンロンが選出	
	2010	人口541万人 Marina Bay Sandsの開設	
シティ・イン・ア・ガーデンの発展期	2011		コンセプトプラン2011の策定作業が着手されるが、人口調査に関するパブリックコメントに対応して現時点でも策定には至らず
	2012	シティ・イン・ア・ガーデンの象徴ともなるGardens by the Bayの開園	
	2013	植樹キャンペーン50年記念	人口調査の結果を反映し、質の高い住環境を保証しながら人口や経済成長を支える土地利用計画書2013の策定

シンガポールの人口推移と国民一人当たりおよび名目GDPの推移



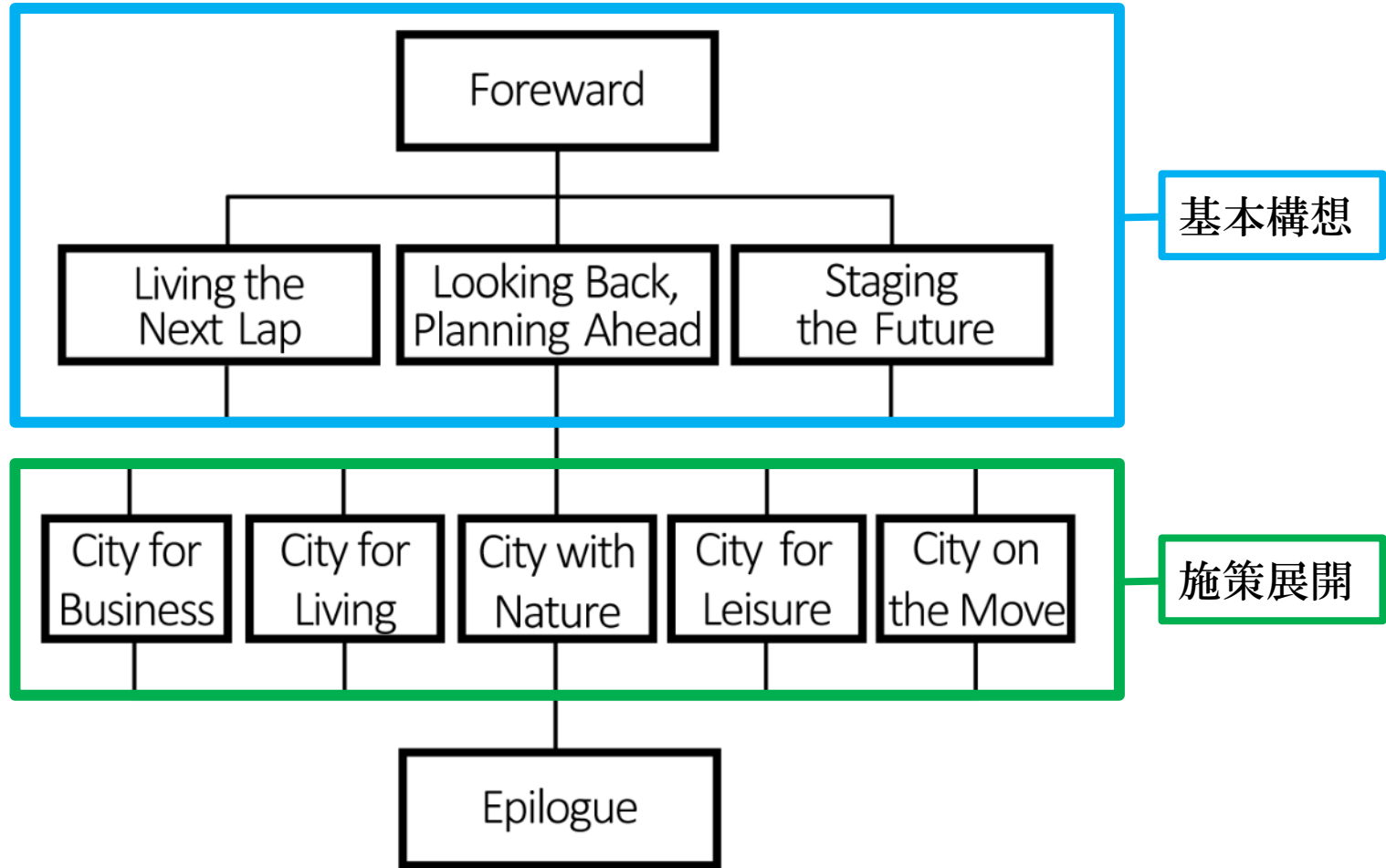
# コンセプトプラン1991の概要

基本的な都市インフラの整備に加えて余暇環境の整備を行うことによる  
ガーデン・シティの確立を目指す



# コンセプトプラン1991の概要

基本的な都市インフラの整備に加えて余暇環境の整備を行うことによる  
ガーデン・シティの確立を目指す

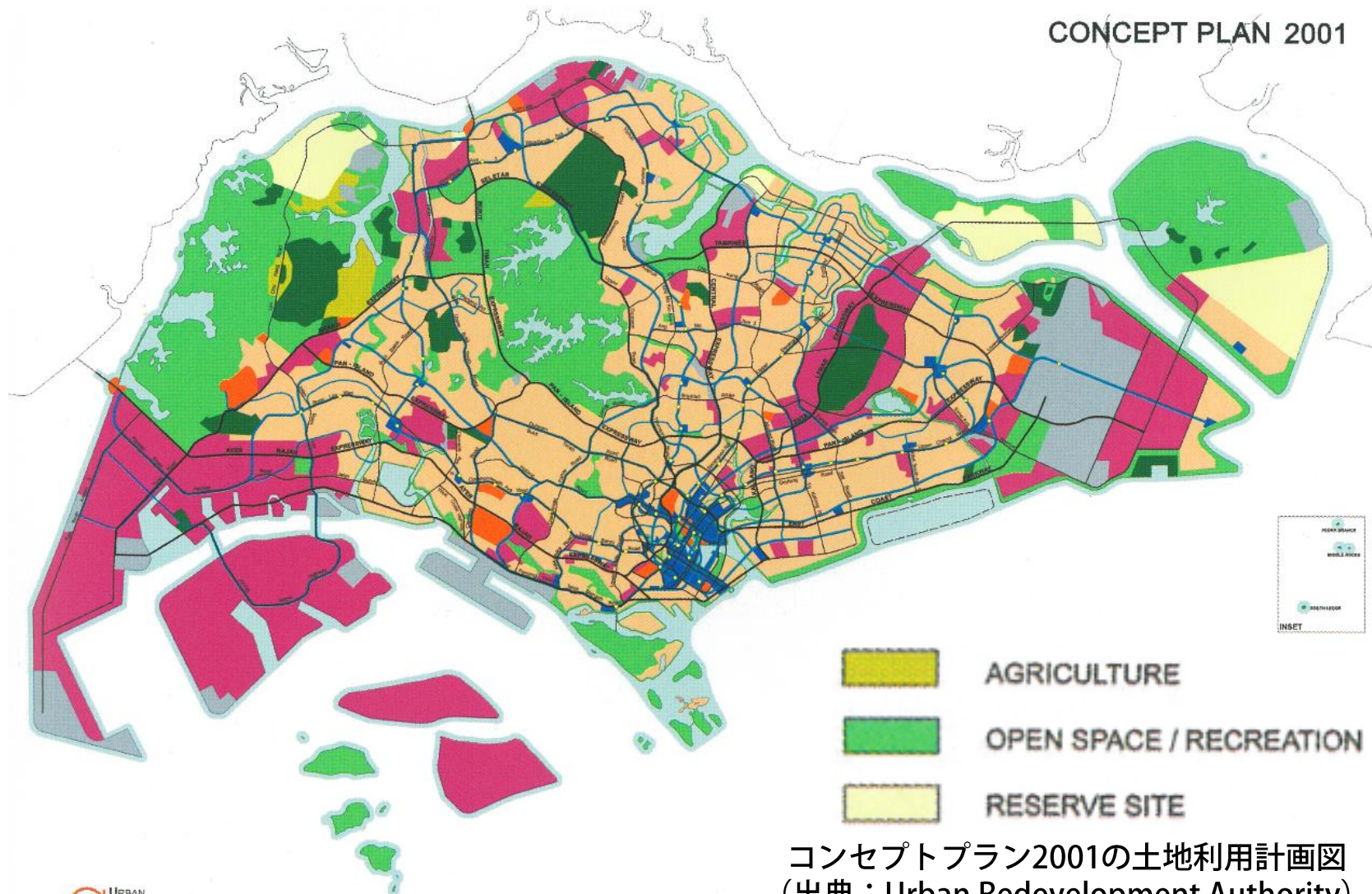


コンセプトプラン1991の計画構成



# コンセプトプラン2001の概要

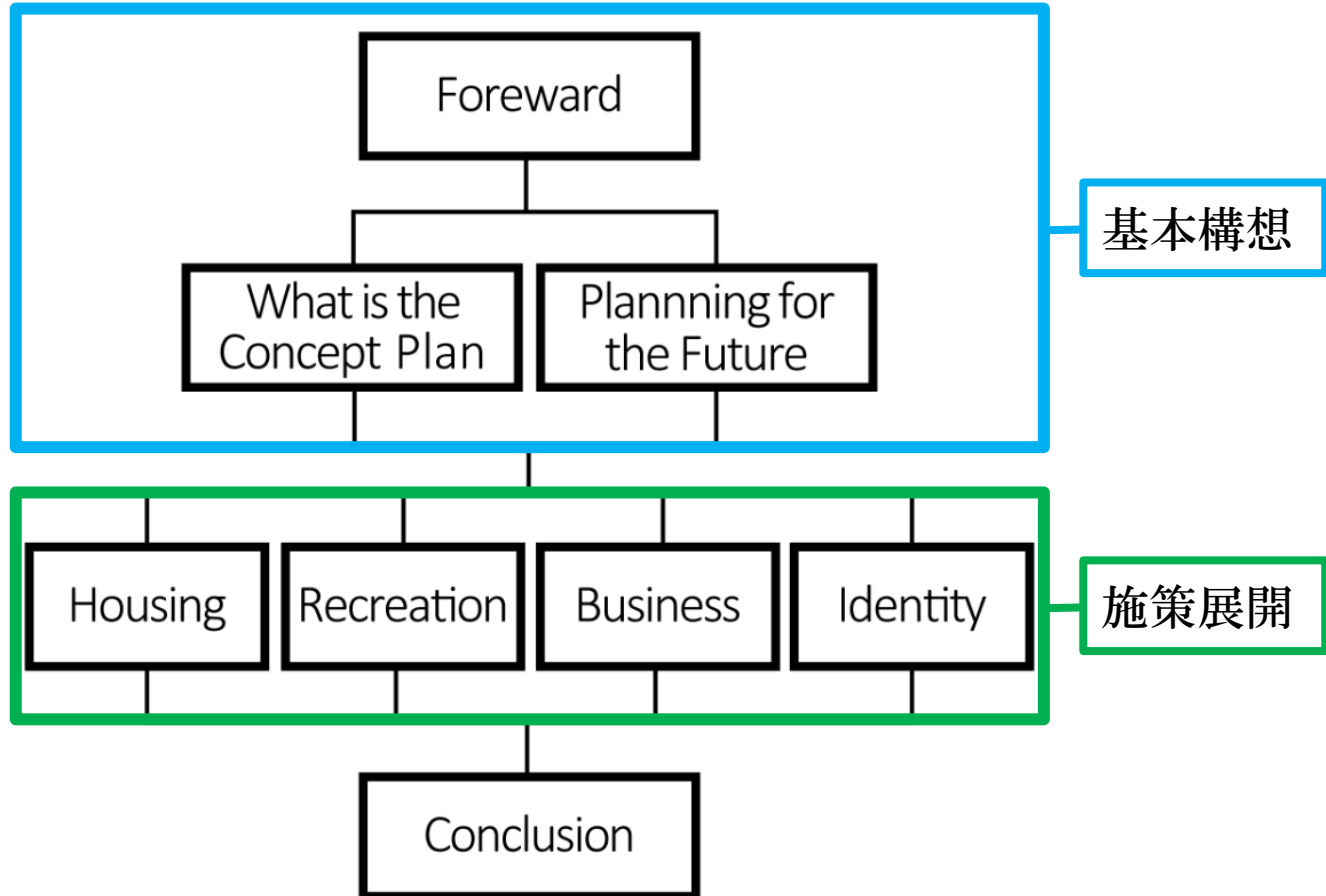
ガーデン・シティが一定確立されたことを受け、多民族国家としてのまとまりを生み、多様性への対応を図った新たな都市ブランディングを目指す



コンセプトプラン2001の土地利用計画図  
(出典：Urban Redevelopment Authority)

# コンセプトプラン2001の概要

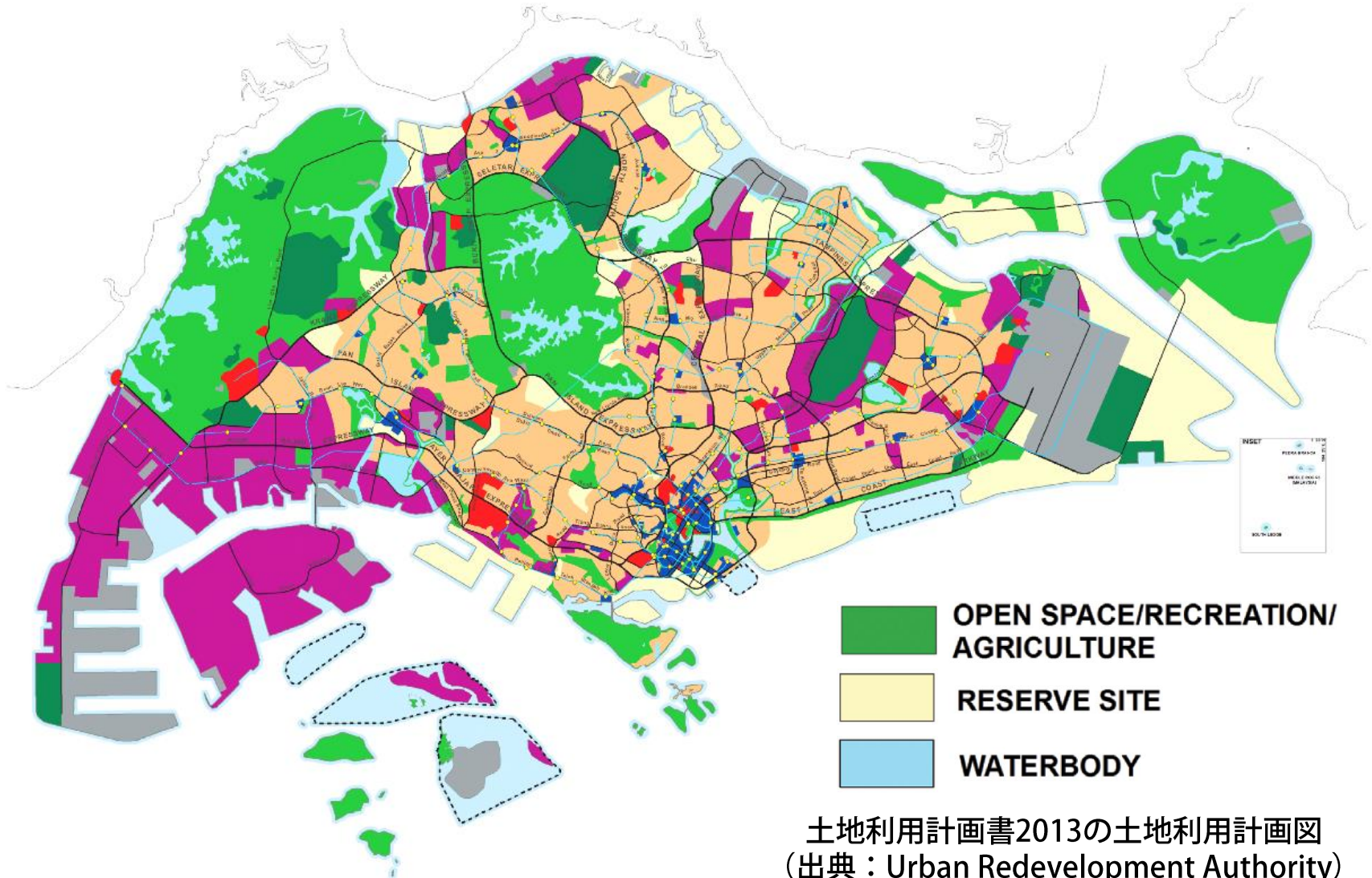
ガーデン・シティが一定確立されたことを受け、多民族国家としてのまとまりを生み、多様性への対応を図った新たな都市ブランディングを目指す



コンセプトプラン2001の計画構成

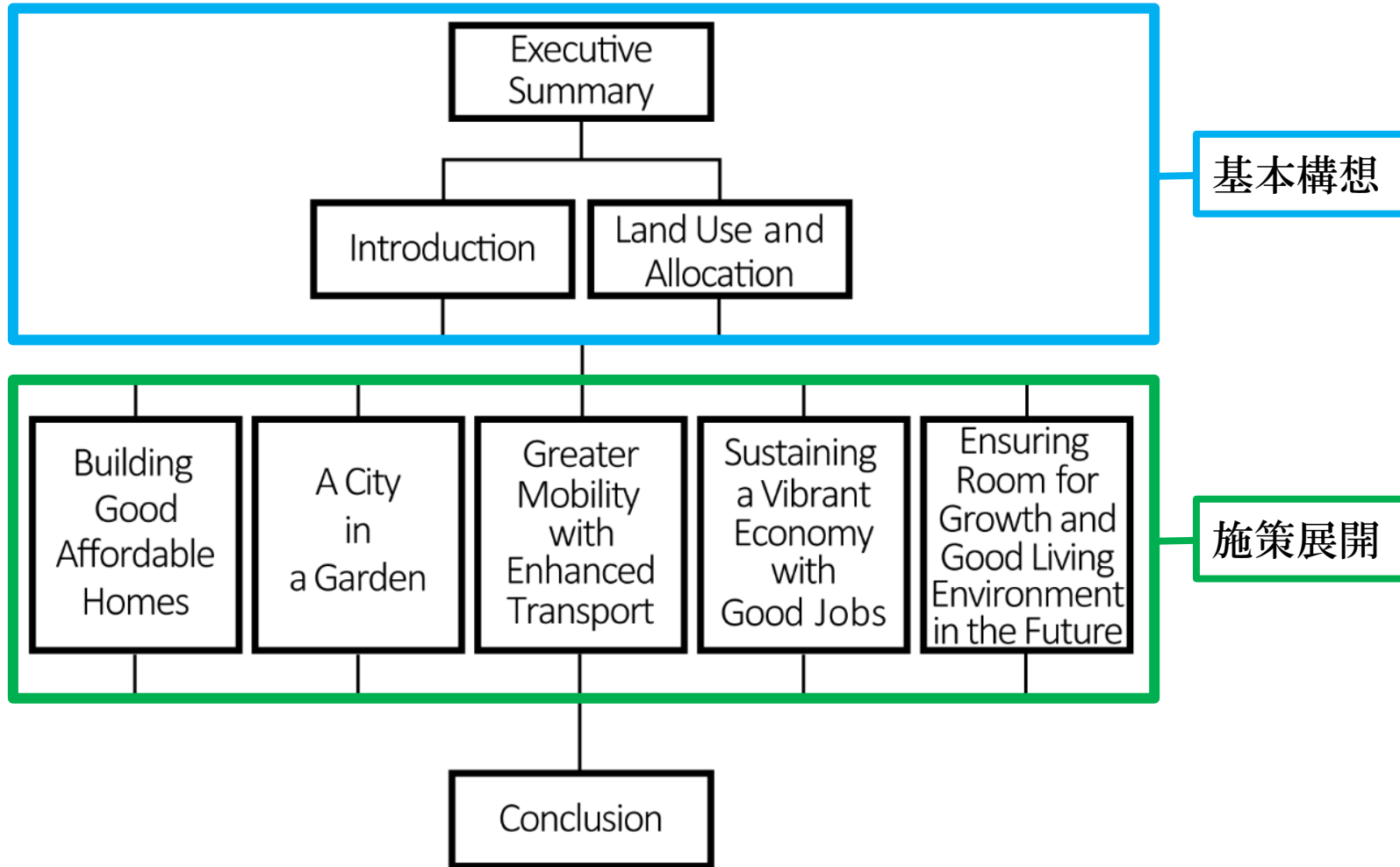
# 土地利用計画書2013の概要

シティ・イン・ア・ガーデンの具現化を国内外に向けて発信し始め、  
より質の高い住環境を保証しながら人口や経済成長を支える



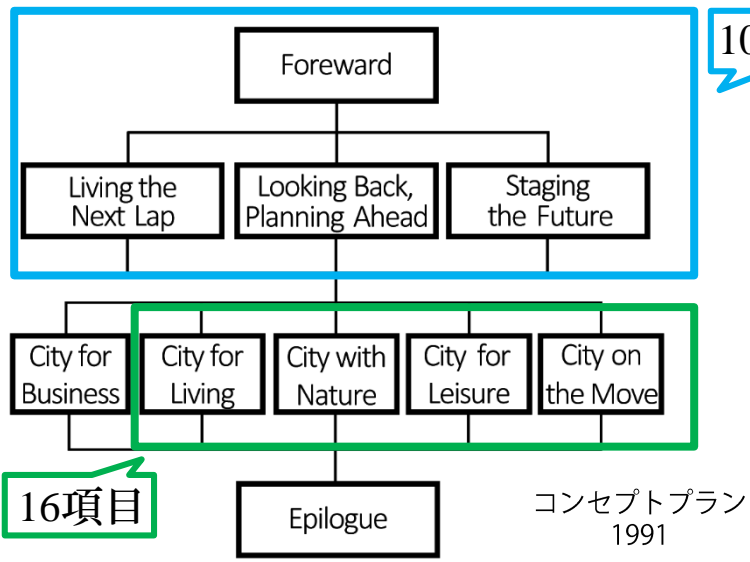
# 土地利用計画書2013の概要

シティ・イン・ア・ガーデンの具現化を国内外に向けて発信し始め、  
より質の高い住環境を保証しながら人口や経済成長を支える



土地利用計画書2013の計画構成

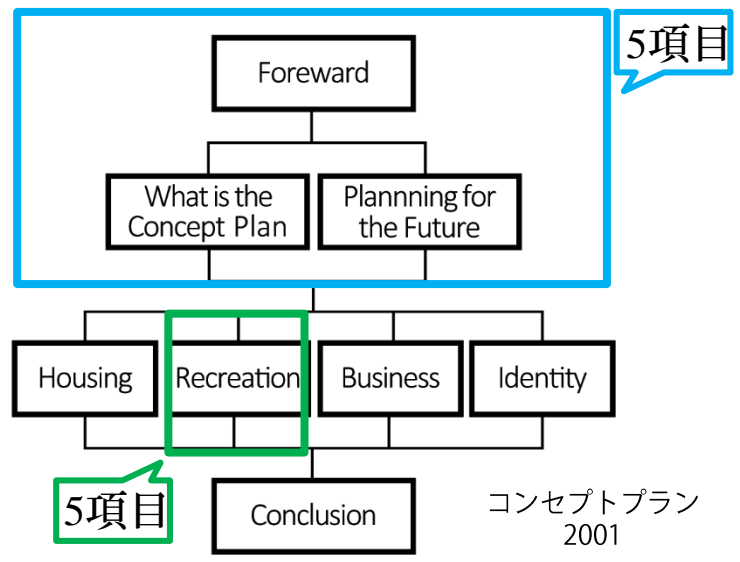
# 解析方法



10項目

16項目

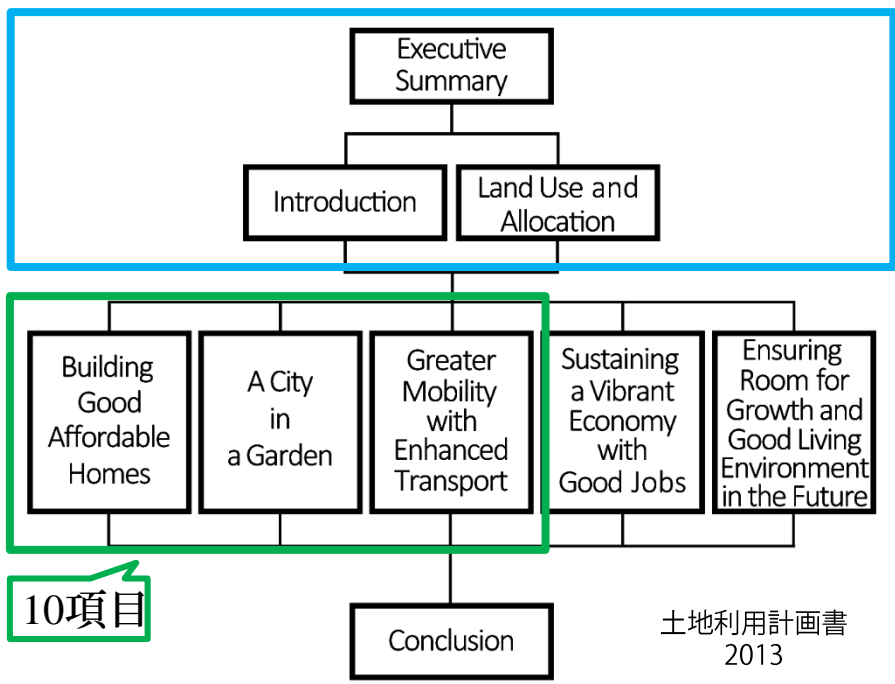
コンセプトプラン 1991



5項目

5項目

コンセプトプラン 2001



9項目

10項目

土地利用計画書 2013

- 前段部分を計画目標、後段部分の具体施策の中から緑地に関わる内容を緑地施策と特定、内容を分類
  - 計画目標： 計画の背景、計画の目的・方法  
目標、基本方向・基本方針
  - 緑地施策： 背景、目標  
基本方針、事業展開
- それぞれの3時期の比較考察

# 計画目標の変遷

## <計画の背景、計画の目的・方法>

分類		計画年度		
		1991	2001	2013
計画の背景	シンガポールのこれまで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スラムなど都市問題を解決しアジアを代表する大都市へと成長</li> <li>・基本的な都市基盤の整備の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植民地から都市国家へ独立、発展</li> <li>・公園緑地や文化芸術関連の整備と埋立地の工場建設といった都市基盤の整備の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進国レベルまでの都市の成長</li> </ul>
	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市基盤とともに住環境や社会環境の水準確保</li> <li>・住宅や公共施設、レク環境に対する質的なニーズの上昇</li> <li>・埋立てによる国土面積の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土面積の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーデン・シティ政策の成功</li> <li>・観光地ではなく居住地として高く評価</li> <li>・国土面積の拡大</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住環境や労働環境、レク環境の選択性のある質の高い都市空間</li> <li>・埋立てによる国土の拡大と、人口増加に対応した住空間の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた埋立て面積の中での経済成長と人口を支える敷地の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた国土容量のなかでの人口拡大と高密度化への対応と生活の質の向上</li> </ul>
計画の目的・方法	計画の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土と交通システムにレクに関わる開発戦略を含めた計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市ビジョンを具現化する基盤</li> <li>・柔軟性のある長期計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細なプラン内容を示した土地利用計画</li> </ul>
	計画の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量的整備による人口増加への対応</li> <li>・質的整備による日常生活への余暇や文化創造の機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住・レク環境の選択肢の拡大や緑地へのアクセス性の向上による質の高い生活の実現</li> <li>・国際レベルでの社会環境の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の日常と一生を豊かにする住環境・労働環境・余暇環境の創出</li> </ul>
	計画の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段階ごとに慎重な計画内容を設定しながらも、ニーズや状況の変化に柔軟に対応する計画方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の声を計画に反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な計画の見直しの実施による時代ニーズや国民のアイディアの把握</li> </ul>
	計画の期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画</li> </ul>

# 計画目標の変遷

## <計画の背景、計画の目的・方法>

年度 分類	1991	2001	2013
計画の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土と交通システムにレクリエーションに関わる開発戦略を含めた計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市ビジョンを具現化する基盤</li> <li>柔軟性のある長期計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細なプラン内容を示した土地利用計画</li> </ul>
計画の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>量的整備による人口増加への対応</li> <li>質的整備による日常生活への余暇や文化創造の機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住環境・レクリエーション環境の選択肢の拡大や緑地へのアクセス性の向上による質の高い生活の実現</li> <li>国際レベルでの社会環境の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民の日常と一生を豊かにする住環境・労働環境・余暇環境の創出</li> </ul>

緑地環境の創出



緑地環境へのアクセス性の向上や選択性の確保



国民のための豊かさの創出

# 計画目標の変遷

## <目標、基本方向・基本方針>

年度		1991	2001	2013	
分類	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>人々の生活や国の活気、自然環境と都市などのバランスを図ることによる都市の質や格の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民一人ひとりのシンガポール人としての自覚や愛着心の醸成</li> <li>世界レベルの経済成長の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高水準の居住空間のある都市</li> <li>国民が自国に対する愛着心や帰属意識を抱ける国の創造</li> </ul>	
	指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口、国土面積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口や住宅戸数、公園配置基準、鉄道総距離、国土面積</li> </ul>	
基本方向		<ul style="list-style-type: none"> <li>国土面積と経済、インフラ、住環境や労働環境、生活の質、都市の個性</li> <li>レクリエーションに関する基本方向の具体的な設定はされず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅と緑地、経済、交通、アイデンティティ</li> <li>レクの選択制の多様化が設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅と緑地、経済、交通、文化、清潔性や安全性</li> <li>レク環境への住宅地からのアクセス性の確保</li> </ul>	
基本方向・基本方針	基本方針	交通計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>MRTの既存路線の伸長と新路線の建設や沿線の住宅・商業開発</li> <li>全土的な高速道路ネットワークの整備</li> <li>フェリーの公共交通としての活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定されず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住まいからのアクセス性の良い鉄道駅の配置</li> <li>バス路線の規模と利便性の拡大</li> <li>歩行と自転車利用を促進するインフラ整備</li> <li>交通拠点づくりによるアクセス性や移動性の向上</li> </ul>
		住宅計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>水辺を身近に感じられる住宅地開発</li> <li>セントラル地域以外での新都心開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定されず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅地からレク環境や交通拠点、公共施設へのアクセス性の確保</li> </ul>
		緑地計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>未開発地のレクリエーション緑地としての利用</li> <li>自然環境との両立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定されず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅地からのアクセス性を重視した公園配置</li> <li>パークコネクターと大規模な自転車動や鉄道跡の緑地化による全国的な緑のネットワーク拡充</li> </ul>
		産業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業地域や工業団地の建設</li> <li>生産拠点としての拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定されず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造活動の付加価値化と金融市場として競争力の向上による経済活力の上昇</li> </ul>
		国土計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>セントラル地域への一極集中の防止</li> <li>新たな都心開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定されず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた土地資源の中で埋立てや土地利用転換などによる土地の容量拡大と有効利用</li> <li>国土計画に関する新たな技術や研究の積極的な取入れ</li> </ul>



# 計画目標の変遷

## <目標、基本方向・基本方針>

計画年度 分類	1991	2001	2013
理念	<ul style="list-style-type: none"><li>・人々の生活や国の活気、自然環境と都市などのバランスを図ることによる都市の質や格の向上</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・国民一人ひとりのシンガポール人としての自覚や愛着心の醸成</li><li>・世界レベルの経済成長の実現</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・高水準の居住空間のある都市</li><li>・国民が自国に対する愛着心や帰属意識を抱ける国の創造</li></ul>
	全体的な都市空間の向上 ↓ 国民に対する都市サービスの充実		

# 計画目標の変遷

## <目標、基本方向・基本方針>

計画年度 分類	1991	2001	2013
基本方向	<ul style="list-style-type: none"><li>・国土面積と経済、インフラ、住環境や労働環境、生活の質、都市の個性</li><li>・レクリエーションに関する基本方向の具体的な設定はされず</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・住宅と緑地、経済、交通、アイデンティティ</li><li>・レクリエーションの選択性の多様化が設定</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・住宅と緑地、経済、交通、文化、清潔性や安全性</li><li>・レクリエーション環境への住宅地からのアクセス性の確保</li></ul>

日常生活における緑地の近接性がより重視される

# 緑地施策の変遷

## <背景、目標>

分類		計画年度		
		1991	2001	2013
背景	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市に対するニーズが居住や労働の空間としての基盤的要素の確保から余暇環境の充実へ</li> <li>・都市における清潔性と緑量が十分に確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定されず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市化と緑地の創出を両立した都市づくりを実現</li> <li>・ガーデン・シティとして国際的にも高い評価を受けてきた</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レク緑地の充実</li> <li>・南の島国という環境を生かすことによる質的な整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定されず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーデン・シティを超える新たな都市と緑の関係づくり</li> </ul>
目標	理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「レジャー都市」という都市イメージの転換</li> <li>・日常生活における質の向上</li> <li>・庭園という緑と都市との関係性においての図と地を逆転</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択性や利便性の高いレク施設などの整備</li> <li>・プログラム内容の充実</li> <li>・アクセス性の向上</li> <li>・刺激のある都市づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良質な景観と住環境の形成やレク空間の提供、健康や安らぎの提供</li> </ul>
	指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地施策全体を支えるような指標は設定されず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地面積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園配置の基準や割合</li> <li>・水路や緑道となどネットワーク形成に向けた具体的な指標が設定</li> </ul>

# 緑地施策の変遷

## <背景、目標>

年度 分類	1991	2001	2013
現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・都市に対するニーズが居住や労働の空間としての基盤的要素の確保から余暇環境の充実へ</li><li>・都市における清潔性と緑量が十分に確保</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・設定されず</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・都市化と緑地の創出を両立した都市づくりを実現</li><li>・ガーデン・シティとして国際的にも高い評価を受けてきた</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・レクリエーション緑地の充実</li><li>・南の島国という環境を生かすことによる質的な整備</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・設定されず</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ガーデン・シティを超える新たな都市と緑の関係づくり</li></ul>

都市と緑地に関する  
課題の高度化

# 緑地施策の変遷

## <背景、目標>

年度 分類	1991	2001	2013
理念	<ul style="list-style-type: none"><li>・「レジャー都市」という都市イメージの転換</li><li>・日常生活における質の向上</li><li>・庭園という緑と都市との関係性におけるの図と地を逆転</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・選択性や利便性の高いレク施設などの整備</li><li>・プログラム内容の充実</li><li>・アクセス性の向上</li><li>・刺激のある都市づくり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・良質な景観と住環境の形成やレクリエーション空間の提供、健康や安らぎの提供</li></ul>
対外的な都市イメージづくり ↓ 緑地の選択性やアクセス性の充実、緑地の持つ多面的機能の発揮			
			な指標が設定

# 緑地施策の変遷

## <基本方針>

計画年度		分類		
		1991	2001	2013
基本方針	緑地の創出・拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸線の拡大や創出によって水辺空間の利用性や質の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民が享受できる量的な緑地の充実によるシティ・イン・ア・ガーデンへの転換</li> <li>・人口増加を背景とした開発ニーズに対応して緑地面積とレク施設の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貯水地や河川、排水施設などの水辺環境をレクリエーション緑地として解放</li> <li>・住宅の立体緑化によるコミュニティやレク空間としての整備とその利用促進</li> </ul>
	緑地間の連続性・ネットワークの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全土的な緑道や自転車道の設置による緑地間の移動性の向上と、レク利用の拡大</li> <li>・交通の主体を自動車から歩行と自転車へとシフトさせ、都市空間の創出と質の向上や都市環境の緩和</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パークコネクターによる緑地や各種施設、住宅地のネットワークづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車道や旧鉄道線の緑地化といった新たな回廊とパークコネクターの連結化など緑道のネットワークの充実によるシティ・イン・ア・ガーデンの実現</li> <li>・緑の連続性や立体緑化による景観形成</li> <li>・公共交通としての自転車の普及による環境緩和や健康増進</li> </ul>
	緑地の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地の保全が継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慎重な自然環境の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護区域指定の推進による生態系の保護</li> </ul>
	緑地の機能の多様化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HDBのニュータウン開発においては緑と高層高密な住環境を一体的に開発し、良好な樹環境の形成</li> <li>・非日常的な特徴やテーマ性のある公園づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムと連動させて特徴やテーマ性のある公園緑地の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺と住宅地の連続性の向上や親水性、一体性のある河川周辺の緑地や住宅地の創出</li> <li>・多様な世代や要望に対応できるテーマ性や特徴のある公園緑地の整備</li> </ul>

# 緑地施策の変遷

## <基本方針>

年度 分類	1991	2001	2013
緑地の 創出・拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 海岸線の拡大や創出によって水辺空間の利用性や質の向上</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国民が享受できる量的な緑地の充実によるシティ・イン・ア・ガーデンへの転換</li><li>・ 人口増加を背景とした開発ニーズに対応して緑地面積とレク施設の充実</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 貯水地や河川、排水施設などの水辺環境をレクリエーション緑地として解放</li><li>・ 住宅の立体緑化によるコミュニティやレク空間としての整備とその利用促進</li></ul>

緑地の施策展開の対象が拡大

+

従来の機能的な水辺をレクリエーション緑地へ転換

# 緑地施策の変遷

## <基本方針>

年度 分類	1991	2001	2013
緑地間の 連続性・ ネットワー クの向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全土的な緑道や自転車道の設置による緑地間の移動性の向上と、レク利用の拡大</li><li>・ 交通の主体を自動車から歩行と自転車へとシフトさせ、都市空間の創出と質の向上や都市環境の緩和</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 緑地や各種施設、住宅地のネットワークづくりとしてパークコネクターという概念を導入</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自転車道や旧鉄道線の緑地化といった新たな回廊とパークコネクターの連結化など緑道のネットワークの充実によるシティ・イン・ア・ガーデンの実現</li><li>・ 公共交通としての自転車の普及による環境緩和や健康増進</li></ul>

パークコネクターを基盤とした  
全土的な緑道ネットワークシステムの確立



# 緑地施策の変遷

## <事業展開>

分類		年度	1991	2001	2013
事業展開	セントラル		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Singapore Riverを核とした歴史遺産の再評価とレク利用、複合開発による地域活性化</li> <li>・ 歩行を促進する緑地へのアクセシビリティの向上と歩行者専用道の設置</li> <li>・ 花木や果樹を伴った広幅の並木道の景観形成によるガーデン・シティの印象づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Rocher地区における芸術活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魅力的で親水性のある河川景観の整備と水質浄化といった環境対策の促進</li> <li>・ 緑地と一体的な住宅地開発と、立体緑化の積極的な導入</li> <li>・ 大規模な自転車ネットワークの導入による各種施設への接続性の向上</li> </ul>
	北		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央集水域など豊かな生態系を保有する自然地の保護区域指定の推進</li> <li>・ 国民への自然美の提供</li> <li>・ 未利用地の活動的な緑地への土地利用転換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央集水域を自然公園として開発することによる国民への自然美の啓蒙やレク緑地としての利用の促進</li> <li>・ 優先的な貴重な自然環境の保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴重な生態系の保護と国民への自然環境の解放の両立</li> <li>・ 希少生物や固有種の保全と生息地の保護</li> </ul>
	北東		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境の残る北東諸島のレク緑地として開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北東諸島の開発を保全へと変更</li> <li>・ 貴重な自然環境の優先的な保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区域指定による自然環境の保全</li> <li>・ ABC Water Projectによる生物多様性の保全と親水性のある河川空間の創出</li> </ul>
	東		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Pasir Ris地区の海岸部の開発と自然資源の保全の両立</li> <li>・ 大規模なレク緑地と一体となった住宅地の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境に配慮した水辺のレク緑地としての開放</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車主体のまちづくりの推進と実践</li> <li>・ 大規模レク拠点を活かした都市づくり</li> </ul>
	西		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然公園の設置による国民への自然美の啓蒙</li> <li>・ 採石場跡などの未利用地をレク緑地へと土地利用転換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境に配慮した水辺のレク緑地としての開放</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物多様性の保全とともに多様なニーズに対応した多様な公園の整備</li> <li>・ 河川を体験学習の場とするためのデザインやプログラムの実践</li> <li>・ 立体緑化の積極的な推進</li> </ul>

# 緑地施策の変遷

## <事業展開>

年度		1991	2001	2013
分類				
	北東	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自然環境の残る北東諸島のレクリエーション緑地として開発</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 北東諸島の開発を保全へと変更</li><li>・ 貴重な自然環境の優先的な保全</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 区域指定による自然環境の保全</li><li>・ ABC Water Projectによる生物多様性の保全と親水性のある河川空間の創出</li></ul>

緑地環境に対する保全の強化と親密性や近接性の創出が  
バランスを図りながら推進される



## A HIGH QUALITY LIVING ENVIRONMENT FOR ALL SINGAPOREANS

Land Use Plan to Support Singapore's Future Population

January 2013

土地利用計画書2013の表紙  
(出典：Urban Redevelopment Authority)

ガーデン・シティの確立を図った  
コンセプトプラン1991：  
国際的な投資を引き付ける観光地  
としての都市イメージを打ち出す  
“対外向き”の理念や目標



シティ・イン・ア・ガーデンへと  
展開したコンセプトプラン2001：  
国民生活の充実を図る“内向き”  
の理念や目標に変化



シティ・イン・ア・ガーデンの発展  
を目指す土地利用計画書2013：  
居住空間としての水準を高めること  
により、国民生活のさらなる充実を  
図る

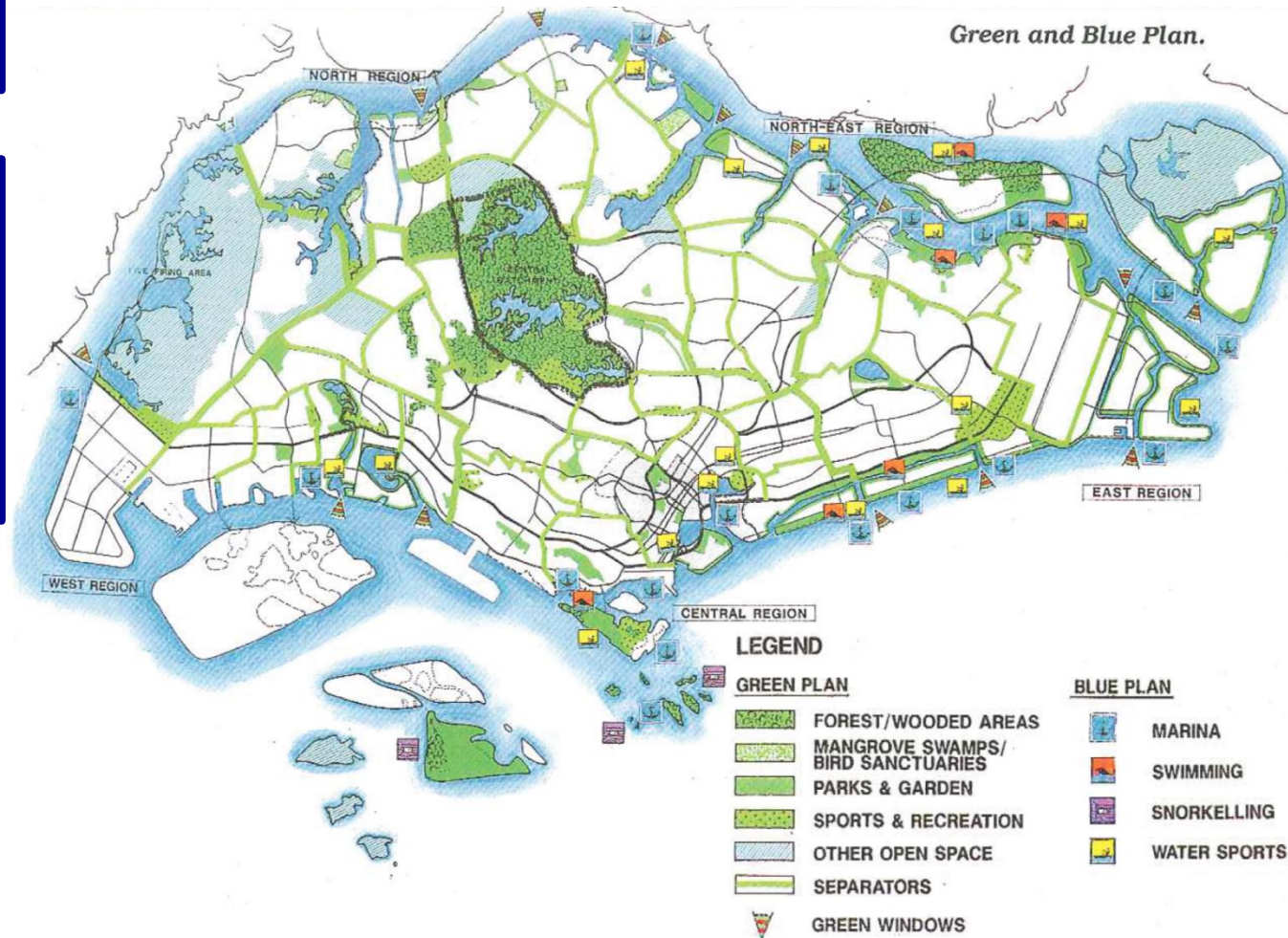
# 結論(2)

コンセプトプラン1991：  
個々の緑地の創出とともに  
緑地間のネットワーク  
化がうたわれ始める



コンセプトプラン2001：  
レクリエーション緑地の  
選択制やアクセス性の向  
上を支える仕組みとして  
“パークコネクター”とい  
う全土的な緑道システム  
の導入

土地利用計画書2013：  
自転車道など他の緑道と  
パークコネクターの連結  
による緑道システムのさ  
らなる充実  
従来の都市インフラをグ  
リーン・インフラとして  
再編し、生物多様性の保  
全や防災機能などの多面  
的な機能の発揮の促進



土地利用計画書2013の緑と水の計画ター計画  
(出典：Urban Redevelopment Authority)

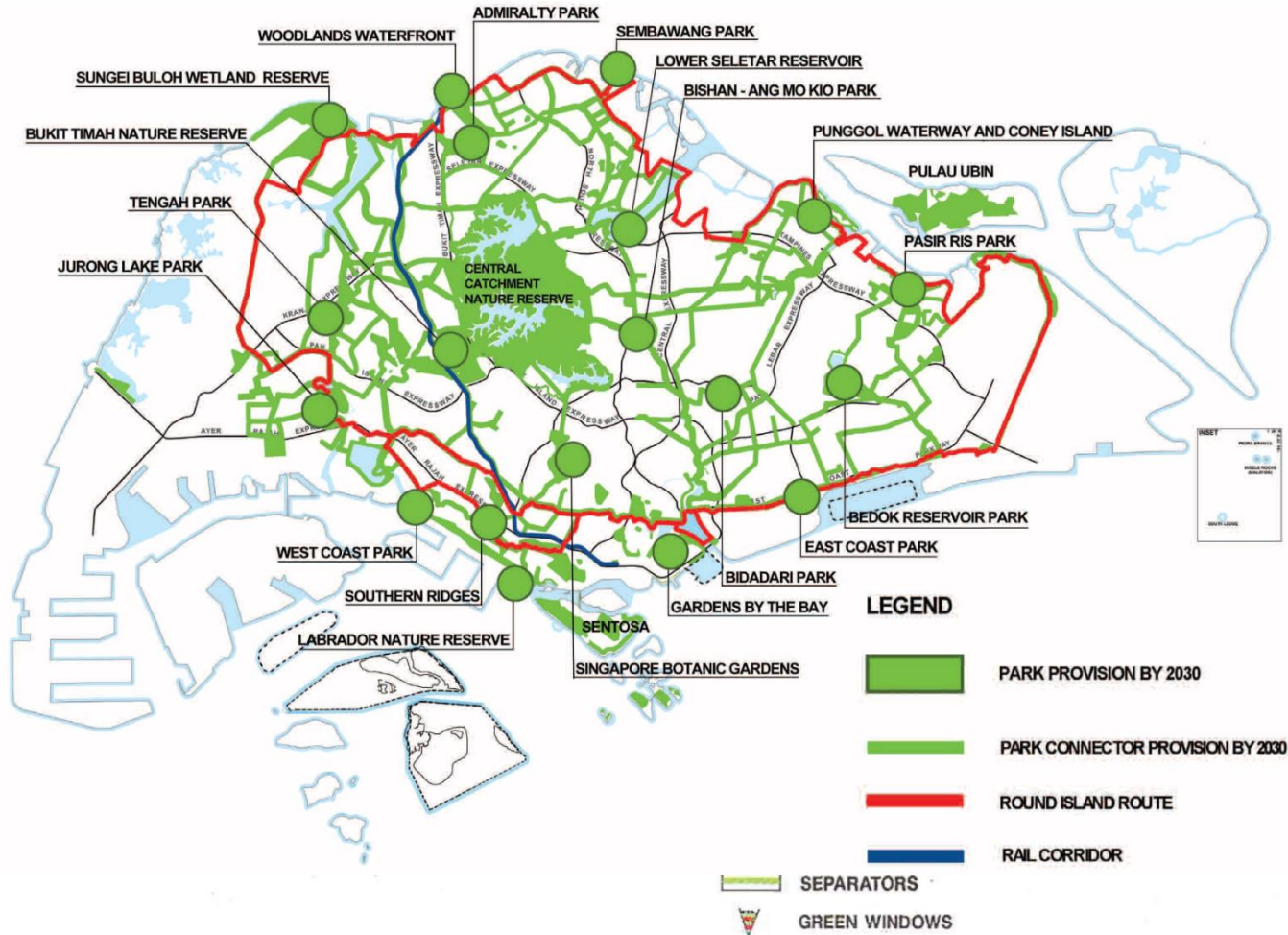
# 結論(2)

コンセプトプラン1991：  
個々の緑地の創出とともに  
緑地間のネットワーク  
化がうたわれ始める

コンセプトプラン2001：  
レクリエーション緑地の  
選択制やアクセス性の向  
上を支える仕組みとして  
“パークコネクター”とい  
う全土的な緑道システム  
の導入



土地利用計画書2013：  
自転車道など他の緑道と  
パークコネクターの連結  
による緑道システムのさ  
らなる充実  
従来の都市インフラをグ  
リーン・インフラとして  
再編し、生物多様性の保  
全や防災機能などの多面  
的な機能の発揮の促進



土地利用計画書2013の緑と水の計画ター計画  
(出典：Urban Redevelopment Authority)

ご清聴ありがとうございました

A decorative graphic consisting of several horizontal lines of varying lengths and colors (red and white) extending from the right side of the slide.